

京都府南部の木津川市で初めての出前教室を実施

- 今年は戌年、「戌年」の「戌」という字には「新しい命を守る」という意味もあるそうです。

秋になり花が落ち、冬の寒さに耐えると、内面の新しい命は守られた力を蓄え続けています。つまり、前向きに地道な努力を重ねることができるかどうかで運気が大きく変わると言われています。

その様な「戌年」に南部の木津川市立南加茂台（ながもだい）小学校において、「行政相談」とはどういったことをするのかということを知って頂くに理解を深める授業を1月23日（火）に初めて開催しました。

この日は1月とは思えないくらい穏やかな日でした。

- 私達の行政出前教室実施にいち早く協力して頂いたのは、木津川市立南加茂台小学校の児童33名です。

授業は午前10時50分から11時35分（3校時）の貴重な時間を頂きました。最初に児童代表より開始の元気な挨拶がありいよいよ授業がスタート。

- 京都行政相談センターのバックアップを受けて、相談センターの吉留係長が ①行政ってなに？ ②みんなのくらしと行政 ③行政相談ってなに？ ④行政相談委員ってどんな人？ など子供たちの日常生活に置き換えてわかり易くお話しをして頂きました。



続いて後半は木津川市担当の行政相談委員、井上委員が多くの相談事例の中から5項目の事例について話しました。



改善事例を説明する井上委員

事例① 国道 24 号の路面表示と車線境界線が薄くなり、危険なので対応してほしい。

道路の路面表示と車線が薄くなっている！

国道の路面表示と車線境界線が薄くなり、とても危険だったので、新しく表示とラインを引き直したよ！

分かりにくい

見やすくなったね！

事例② あまり人通りの少ない場所に設置されている郵便ポストの場所が不便である。

不便なところにあるポストを移動したよ！

人通りが少ない、とても不便なところにポストが置かれている。もっと、みんなが使いやすく、安全なところにポストを移動させてほしいな！

ぽつーん

学校や、みんなのおうちのちかくにひっこしたよ！

事例③ 通学路の歩道のフェンスが、自動車の接触事故により壊れており危険である。



- 子供達はプレゼンテーションソフトの映像をみながら大切な箇所はしっかりとメモを取って相談事例を一生懸命聞いていました。授業終了後のアンケートにも子供目線の意見が沢山提出されました。

公園遊具の件、通学路上の危険箇所やバス停のベンチの取替えやグラウンドの便所改修工事・・・等々の沢山の意見が出て嬉しいやら、大変やら・・・児童達が普段思っていたことを相談したら、「もっと良くなる」「もっと良くしてほしい」という思いを込めてこのアンケートに意見を書ってくれたのだと思うと、今後の委員活動において、できる限り解決してあげなければと思っています。



行政相談クイズに元気に手を挙げる児童

日 時 平成 30 年 1 月 23 日 (火) 10 時 50 分～11 時 35 分

場 所 木津川市立南加茂台小学校 視聴覚室

出席者 6 年生 33 名 (35 名中 2 名欠席)

講 師	●京都行政相談センター	吉留 麻子係長
		参観 柳木 浩之相談課長
	●木津川市行政相談委員	井上 敬子
		参観 松井 康次・竹谷 有子
	●木津川市役所総務課	参観 木下主幹・寺内・甚上

当日は京都新聞社からの取材もあり 1 月 25 日付けに記事が掲載されました。
(京都新聞掲載記事をご覧ください。)

平成 30 年 1 月 31 日

報告者 木津川市 HP 委員 井上敬子